

## 平成24年度第1回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成24年4月10日(火) 19:20~22:00

[場所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参加者]7名:伊藤昌徳(ハートライフ病院)、笹良剛史(南部病院)、増田昌人(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、棚原陽子(琉大病院)、上原弘美(患者)、

[欠席者]9名:大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、垣花真紀子(沖縄県立宮古病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)栗山登至(琉大病院)(那覇市立病院)、喜納美津男(きなクリニック)、島袋恭子(那覇市立病院)、上間一(オリブ山病院)、福地泉(アドベンチストメディカルセンター)

[陪席者]2名:松澤智子、安里千恵美、(琉大病院)

### <報告事項>

#### 1. 「第2回がんピアサポーター養成基礎講座」報告について

上原委員より、資料2に基づき「第2回がんピアサポーター養成基礎講座」を開催した報告があった。1月22日、1月29日、2月5日の3日間で合計9時間の講座を行い、参加者11名のうち全日程の受講修了者は9名。第1回と第2回ピアサポーター構成基礎講座修了者は16名で、今年度は修了者向けのフォローアップ研修会を開催し、患者会や統括相談支援センター等でピアサポート活動が行えるようバックアップをしていく予定との報告があった。

#### 2. がんピアサポート普及啓発市民公開講座

「支え合う力、がんピアサポートをみんなで考えよう」について

上原委員より、資料3に基づき、がんピアサポート普及啓発市民公開講座を開催した報告があった。3月4(日)かりゆしアーバン・リゾート・ナハで行い参加者74名であった。県外より講師を4名招いてそれぞれ講演を行って頂いた。後半はシンポジウムを行い、県内からは棚原委員とオリブ山病院の儀間昌代氏が加わり、それぞれの立場から仲間として支えるにはどのように関わっていくか具体的な話をして頂いたとの報告があった。

#### 3. 次回の部会日程について

次回は7月10日(火)19:00~開催予定

### <協議事項>

#### 1. 平成24年度の部会委員について

委員の追加として、前回の部会で承認された中頭病院のがん化学療法認定看護師である親泊みか氏へ委嘱依頼を行う。その他として、今後は議題に沿ってゲストを呼ぶ事となった。上原委員より、今年度は、相談支援部会委員となる為、緩和ケア部会委員を終了するとの挨拶があった。

## 2. 平成24年度の部会長、副部会長選任について

前年度に引き続き、笹良部会長、伊藤副部会長に決定した。笹良部会長より、がん診療連携協議会には議題に沿った方に出席して頂くよう協力して欲しいとの話があった。

## 3. 平成24年度事業計画と予算案について

### 1) 平成24年度の緩和ケア部会の事業計画について検討し予算も含めた修正を行った。

事業7・チーム医療体制の強化をする為の基礎データ収集について

①沖縄県内のがんリハビリ理学療法士数の把握について、事務局で国立がん研究センターに問い合わせを行う。

②沖縄県内の緩和薬物療法士数の把握について伊藤副部会長より関連学会に確認する。

③沖縄県内のスキルナース数については、棚原委員で確認を行う。

スキルナースについては名簿を作成し協議会HPに掲載する事となった。氏名公表には同意書を送付し確認を行う。

予算：6,400円（切手代金）

事業8・緩和ケアチームへの依頼調査

現在県内にある14チームへの調査を依頼することとなった。

毎年、緩和関連加算状況を把握する目的で、県による各チームへの依頼件数・実施件数等の調査も行われている。この数を教えてもらえないか県に確認を取る。

予算：1,120円

事業9・看取りを施設で行うための勉強会の実施

栗山委員が現在までに行った勉強会をまとめる必要がある。また、関連する4つの団体が主催する講演会等で部会委員による講演が開催できるよう進めていく事となった。

予算：16,000円

事業10・行政セミナーの実施

県職員や関連担当者に対する緩和ケアの現状を伝える必要がある。県職員向けセミナー等の具体的な内容は、今後部会で検討することとなった。

予算：13,500円（会場使用料のみ計上しています。）

4. 沖縄県のがん計画について

増田委員より、次期の沖縄県がん計画について、県に対して部会から骨子案を作成したい。  
時間がない為、メールでディスカッションを行いたいとの説明があった。  
(後日、資料を送付します)

5. 緩和ケア研修会の開催WG設置について

今後は、緩和ケア研修会の開催に関する事（開催日調整等）をメーリング上で行う事となった。

6. 疼痛除去率調査について

笹良部会長より、現在進捗なしの為、調査が出来た時に報告するとの事であった。